



も り
森林の風

特定非営利活動法人

森林の風

会長 蒲田 博

2013.1.5 発行

第14号

だ よ り

謹
賀
新
年



新年のごあいさつ

森林施業NPO法人 森林の風
会長 蒲田 博

明けましておめでとうございます。

昨年は森林の風の行事、運営にご協力いただき有難うございました。

本年も昨年同様、森林活動を安全第一・無事故で進めて行きたいと思っておりますので
よろしく願いいたします。

森林施業 NPO法人  も り
森林の風

連絡先 / 〒512-0933 三重県四日市市三滝台 4 丁目 15-7 TEL059-321-7719 携帯電話090-9663-4088
<http://www.morinokaze.info> *詳しくは、ホームページまたは上記まで問合せください。

「安全に作業する」ということ

聞いて見て
考えて、そして…
実践する。

安全 In The Forest

11月後半は森林・林業(・伐木)界に衝撃が走りました。半月の間に東海3県において事故が相次いだからです。

そのような折、「まちのきこり人レベルアップ研修会」が実施されました。これまでは自身の安全を第一に期してきた森林の風メンバーも、昨今は林業を目指す志を持った方から小学生の児童まで指導することが増えている中、自身の安全だけでは済まされなくなっています。今改めて、「よそ事では済まれない」という危機感が高まっています。良い師について学ぶことや、他団体に出向いて自団体を振り返ることなどからは、きっと何かを得られ、実践に活かせるでしょう。

12月8日 まちのきこり人レベルアップ研修会
第5回 講師:ウッズマンワークショップ 水野雅夫氏

◆◆ プロのウッズマンはこう仕事する! ◆◆
～ 現場で即まね…ムリ! 憧れ編 ～

●服装のチェック。●
体操は大事。四股を踏むような股割りの姿勢が作れるように。いろんなところの筋を伸ばす。「なんば歩き」の所作を参考に。脇をしめること。



●掛かり木処理はロープをかけておく。右からひいてだめなら左から(も)ひく。常に滑車や20mくらいのロープをリュックに入れておくといよ。



●伐倒方向を決める時に離れたところから確認することを疎かにしない。●受け口の水平と斜めの切り口を合わす手間を惜しまない。●意図した方向に受け口が向いていることを必ず確認。



●倒す時両手より片手の方が体重をかけやすい。3回押してだめなら別の手を考える。



最後に、林業の第一線で活躍される水野さんが目にもとまらぬ速さと確実さで伐木→処理をこなす様子を見学させていただきました。総じて、「これまで大きな怪我もなくよう来られました」「森林の風さんもまだまだですな!」との講師のお言葉。参加者一同真摯に受け止め、多くの宿題をいただきました。

毎回の活動でかみしめたいこと。①改めて基本を遂行すること。②基本動作を連動していかにバリエーションを増やせるかもと考えること。③ノルマや効率に差し迫られた本業として森に入っているのではないのだから、とにかく丁寧に手間数を惜しまない作業を心がけること。④何気なく動くのではなく、動作のひとつひとつに「どうしてその動きをしたか」理由があるべき。



●磨いたつむりのソーチェーンもロープでよく見ると、刃こぼれが目からウロコ!



●ソーチェーンの構造・やする角度も大事だが、刃こぼれがなくなるまで削らなければならない。ヤスリは惜しまず早めに交換すること!

その後、森林の風活動におけるチェーンソー使用環境はこれまでと段違いの快適さ♪
快適さも安全も、道具のメンテナンスから。

11月3日 まちのきこり人レベルアップ研修会

◆◆ プロの目立てはここが違う! ◆◆ ～ 発展、マニアック編 ～
第4回 講師:出木杉計画 梶谷哲也氏

林業関係の事故多発！

昨年 11 月以降新聞報道された林業関係の事故が、東海地方だけで 3 件発生しています。

残念なことに 3 名の方が命を落としていらっしゃいます。当人は無念なことであり、それに関わった方々の心境は察するに余りあります。が、どの事故についても不可抗力ではなく、何か忘れていた結果が不幸を生んでいるようです。自分の安全対策はもちろんですが、周囲への気配り、自分の能力の把握、安全具の装着がなされていれば、命を落とすこともなかったのではと考えたと残念なことです。これらの事例以外にも全国各地で様々な事故が起きているようです。「森林の風」としても「水源の森プログラム」を遂行するにあたり、安全作業を最優先で取り組んでいく所存です。



報告 Report かながわ森林インストラクター講習会見学記

【水野 from 東京】



神奈川県立 21 世紀の森で「かながわ森林インストラクターの会」が行った「安全なチェーンソー操作とチェーンソーでの掛り木処理」と銘打っての講習会を見学する機会を得ました。受講者は 23 名で、①チェーンソー操作や伐倒経験の少ない人、②伐倒作業はこなせるが掛り木処理に悩んでいる人、を対象に行われました。



チェーンソー操作のメイン講師は森林の風のメンバーである井伊氏が担当。受講者には「丹沢森の仲間たち」のメンバーもたくさん参加され、チェーンソー経験者も多くみえます。森林インストラクターとはいえ、やはり実践となると川又林業での経験豊富な井伊氏の存在が大きく感じられました。安全の面では普段の作業の中でもドキッと場面もあり、事故を起こさない、事故につながらない作業をこれからも心がけて行きたいと感じた次第です。



報告 Report 森林環境教育を経験して

【裏川】

鈴鹿市の小学校で、授業の一環として「森林の風」が森林環境教育を行いました。

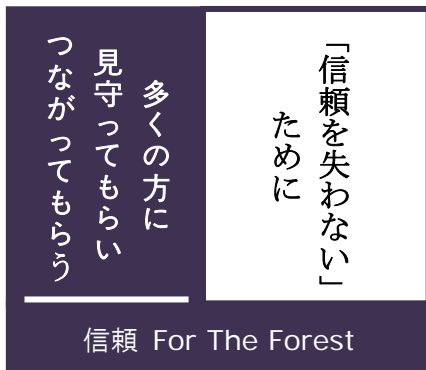
「森林」環境教育とはいうものの工作室での作業指導です。作るものは「竹ポット」です。これは竹林整備で発生した竹を使って植栽用のポットをつくり、そこへドングリを植えて成長の過程を観察し、育った苗を植栽するという、言うなれば「ドングリのなる木を育てよう」というものです。作業をしたのは 4 年生 2 クラスの 60 名ほどです。長い竹を 15cm の長さに切ってポットをつくり、節のところにドリルで穴を開け土を入れてドングリを植えます。

子どもたちは目を輝かせて一生懸命ノコギリを動かしていました。「森林の風」では山の中で、子どもたちに細い木を鋸で間伐経験させたり、あるいは植栽指導したりと山での指導経験はあるものの、教室の中での指導経験はほとんどありません。小学生を相手にどこまでしゃべるのか、彼らが理解してくれるレベルはどのくらいなのか？あとから反省させられることが多くありました。我々も経験を積み、子どもたちといっしょに勉強しながら「森林の風」の基幹事業のひとつとなるよう励みたいと感じた一日でした。

後日、担任の先生が子供たちの作文を送って下さいました。

サンプルの竹ポットを見て「どングりから芽が生えているのを見たのは初めて」、「命の竹を切って、また、新たな命が生まれる」などの視点がありました。感想の多くは、ノコギリを使って竹を切ることが難しかった、疲れた、けどうまくできてよかった、楽しかった！といったものでした。学年末には家庭に持ち帰る予定だそうです。





報告 Report 「(仮)認定NPO」決定です！

【南条】

森林の風は現在「認定NPO法人」化を目指しています。このたび、12月18日付けで仮認定審査をパスし「(仮)認定NPO法人森林の風」となりました。

「認定NPO法人」とは、「運営組織及び事業活動が適正であって公益の増進に資すると見込まれるもののうち一定の基準に適合した」NPO法人をいいます。いろいろと認定基準があるのですが、(仮)とついている一定の期間は、PST基準(下記参照)のみ要求されませんので、「認定NPO」を目指す前段階というところです。

「(仮)認定NPO法人」であっても認定NPOと同様に、個人や法人で寄付していただいた方々が寄付の旨申告されれば税制上の優遇措置が適用されます。(ただし「相続人からの寄付金」と「みなし寄付金」の優遇措置は、仮認定では適用されません。)この優遇措置の内容は別紙をご覧ください。年が明けると早々に確定申告の時期となりますので、12月18日以降に我が「森林の風」にご寄付いただいた方々にはぜひともご利用いただきたいと思っております。

認定申請の過程で、「森林の風」がPST基準以外の要件をクリアしていることは確認されました。今年こそは認定NPOを目指すべく、会員一丸となって更なる組織の明瞭化と活動のパワーアップを図ってまいりますので、皆様のご理解とご協力のほど宜しくお願いいたします。

【PST基準(パブリック・サポート・テストとは?)】

※①②③のいずれかの要件を満たしているか。

①相対値基準

実績判定期間における経常収入のうち寄付金収入の占める割合が20%以上である。

②絶対値基準

実績判定期間内に3000円以上の寄付者が年平均100人以上である。

③県条例により個別指定されること。

寄付お待ちしております

海も、川も、田畑も、人の暮らすまちも、すべての環境は山とそこにある水を守ること守られるのではないか。ということから森林の風のミッションは「水源の森保全」となりました。そこに賛同するメンバーが“それぞれ積極的に企画運営に参加する”ことで成長してきました。森林施業と人材育成を進め8年目に入っています。活動に参加することは難しいけれどその趣旨に一票!とご寄付くださった方には、年4回発行の『森林の風だより』や案内を送付させていただいています。

1口3000円～ 郵便振替でお願いいたします。(現金の場合には最寄りの森林の風会員まで)
郵便振替口座 宛先「特定非営利活動法人 森林の風」 右詰で 00830-4-159060

< 寄付して下さる方の住所・氏名及び通信欄に寄付と明記してください。手数料は不要です。 >



第3回研修会(10/3) 赤沢自然休養林より。

11月、12月と2件の「企業の森」契約期間がスタートしました。5年間ご支援いただき協働する間に、信頼に値する森づくりに励みます。「テイ エステック 憩いの杜」は住宅地の先にある放置されていた里山で竹林を含め多様な樹種があります。「東芝の森」は鈴鹿山麓のもみじ谷と言われる地域の中にある人工林で間伐が待たれています。人の手が入り光が入ればどのような芽が出てくるのか楽しみです。いずれの森づくりも地元の方の意向を尊重し、地元の方に愛され親しまれる森となるよう期待されています。

◆テイ エステック 憩いの杜◆

植樹イベント

2012. 11. 17 桑名市



まずは手入れ前の森を見ていただこうと、整備し観察道を作りましたが…。

あいにくの雨。来賓の挨拶があり。どのような動植物がいる里山か、40年前まではマツタケもとれたよ…などというお話をし。

小降りの時に無事植樹を済ませ…。

アスファルトの小道を歩き、放置された里山で問題となっている「ナラ枯れ」の様子を見学しました。来年は何か変化が起きていますでしょうか？



◆ 東芝の森 ◆

植林活動

2012. 12. 1 四日市市水沢



大勢の人が訪れる前にはひらひらモミジが舞い落ちひっそりとしていた林縁部…。森林の風が事前に間伐・枝打ち・片づけをしておいたそこにモミジを植樹。



アメ、アラレ、雪！？ととにかく冷たく寒い日でした。それでも熱心に木を測り話を聞いていただき、伝える側も熱が入ります。



敷き詰めたような真っ赤なモミジのじゅうたん！を見られる日が楽しみです。

SIDE 本の紹介

【岡島】

1) 『森の仕事と木遣り唄』山村基毅(やまむらもととき)著

木材搬出作業の時の労働唄である木遣り唄を各地に尋ね求めた内容です。そこに息づく伝統的な森に対する考え方や作業手法の解説について、非常に興味深く読みました。



2) 『水を守りに森へ』山田健(やまだたけし)著

サントリーが自社の基盤である地下水の「持続可能性を求めて」取り組んだ森林保全に取り組んだ物語で、まさに水源の森プログラムです。



森に来て ちょっとやって みませんか？

一句。

今後の活動予定(確定分)

日にち	場 所	内 容(学ぶこと)
1月5日	菰野町	新年事始め
1月8日	四日市市	竹林整備(チェーンソー使用)
1月10日	四日市	間伐(チェーンソー使用)
1月12日	四日市	間伐(チェーンソー使用)
1月13日	菰野町	林内整備
1月17日	桑名市	除伐・道づくりなど(チェーンソー使用)
1月19日	四日市市	間伐(チェーンソー使用)
1月20日	多度町	植樹準備など(チェーンソー使用)
1月24日	亀山市	歩道の補修など(チェーンソー使用)
1月26日	四日市市	里山整備応援
1月27日	菰野町	林内整備
1月29日～31日	四日市市	間伐(チェーンソー使用)

*2月以降はホームページでご覧下さい。



◎事務局(瀧口)

四日市市三滝台 4-15-7

TEL & FAX: 059-321-7719

携帯: 090-9663-4088 (瀧口)

Mail: ktaki@m3.cty-net.ne.jp

または

◎担当(清水)

携帯: 090-3550-7041

Mail: shimizu.tamaki@gmail.com

・いずれも集合は8時30分です。参加費は保険代としてチェーンソー使用の日は1,000円、それ以外は500円です。
 ・集合場所等はお問い合わせください。
 ・天候等により予定変更する場合があります(中止を含む)。
 ・参加申し込みは電話、FAX、メールで瀧口、清水まで。
 ・これまでに参加経験がある方は参加の旨のみ連絡いただければ結構です。

春！新風の予感！

予習も辞さず。新年度に即戦力。

研修会を連続企画！！

会員、賛助会員のみ参加可能です。

2/5・6 キープ協会より川嶋直氏を迎えて

3/17 岐阜森林アカデミーより里山施行の講習会

3/23・24 LEAF プログラム地域リーダー育成研修会

4～7月 [全8回] まちのきこり人育成講座

9～12月 [全5回] まちのきこり人レベルアップ研修会

「大変だけれど充実して楽しかった！」

と毎年言っていただけの好評の講座です。

いざ森へ。

森林の風のメンバーとともに一から学びませんか？

特に。志ある若者大大々歓迎です！